

おえ案ですか

題字は古川名誉院長

ICLSデモンストレーション動画コンペティション

努力賞受賞

救急医療に強い丸山、
復活の第一歩

救急室運営委員／歯科口腔外科部長
安井 光彦

整形Dr「先生、よくそんなプラプラになった
舌を局麻で縫うよね～」

僕「先生こそ、切断された指をいつも局麻で縫っ
ているじゃないですか！」

以前勤めていた病院の救急外来（ER）での
やりとり。

僕はそこで救急医療に出会った。そして救急
医療の現場＝ERが好きになった。僕が当直の
時は、いつもERにいた。心停止で救急搬送さ
れてくる患者さんの胸骨圧迫（心マッサージ）
や点滴確保など、僕の専門の口腔顔面外傷以外
にも参加していた。院内PHSをどこかに置き

忘れて、病棟の看護師さんが僕を探している
ときは、ERに電話すれば捕まると思っていた。

そんな経験があったからか、丸山に赴任して
救急室運営委員会にいらさせてもらった。きっ
かけは救急蘇生の院内勉強会の講師を務めてか
らだった。そこで救急医療に対して熱い思いの
あるメンバーと出会った。年齢・性別・資格・
郵便番号・ツベルクリン反応…等、すべてバラ
バラだった。時にはお酒を飲みながら熱く語り
合った。

「昔の丸山、そう、もう一度、救急医療に強い
病院に復活しよう！」

「その為にはまず院内急変時に強い病院になら
う！」

そんな思いから、ERTTを立ち上げた。そ
の活動の第1弾として、ネットや本屋で買える
“どこかの知らない人が出ている研
修ビデオ”ではなく、“院内スタッ
フが出ている救急
蘇生トレーニング
ビデオ”を作る

ことにした。みんな、休日返上で何度も撮影し、
ようやくお披露目の時には、メンバーの迫真の
演技に『大爆笑！』をとれたのもいい思い出で



発足時ERTTメンバー



ある。

ある日、ネットで日本救急医学会 I C L S のデモンストレーション動画のコンペを知った。僕は、メンバーに内緒で応募してみた。そんなコンペに応募したことすら忘れていた昨年9月、努力賞（全国第3位）受賞の連



絡がきた。なんとこの動画はインターネットで世界中の人が閲覧可能となったのだ。みんなで獲得した賞である。本当にうれしかった。そしてこの賞を、ERTTの活動を認めてくれた前任の故戸倉院長と、長い闘病生活を戦い抜いたERTTメンバー医事課故永本さんへ贈りたいと思う。

さあ、丸山記念総合病院、復活の次の一步は!?

※ICLSとは、「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語。日本救急医学会の認定する医療従事者のための蘇生トレーニングコース。実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

院内では、写真に示すようなバッジをつけている方が、その資格をとっています。

※ERTTとは、「Emergency Revival Training Team」の頭文字を取った略語。院内での救急蘇生トレーニングのチームである。写真のようなシールをネームカードにつけています。



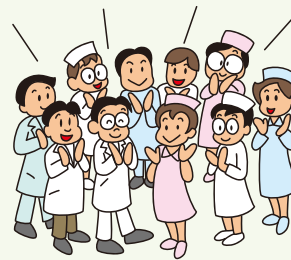
新任医師紹介

①出身大学・卒業年度 ②診療担当科・役職 ③資格等 ④趣味



高瀬 健一郎

(たかせ けんいちろう)



2015年4月より当院外科に着任致しました。

消化器癌治療に専従してまいりましたが、今後、当地域の医療に貢献できるよう精進いたします。

よろしくお願い申し上げます。

①埼玉医科大学医学部（平成20年卒業）

②外科医員

③医学博士／日本外科学会 専門医／日本がん治療認定医機構 がん治療認定医／がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 修了／日本静脈経腸栄養学会 TNT修了医

④SF映画鑑賞、歴史・時代小説

部署 紹介

形 成 外 科

形成外科部長 岩崎 秀樹

形成外科をご存知ですか？

形成外科は、様々な原因により生じた外見上、および機能的な問題の解決を試みる診療科のことで、すなわち手術をはじめ様々な技術を駆使し、見た目の美しさの復元を試み、機能的にも正常な状態へ回復させることを日常業務としている科です。見た目を戻すことで患者さんの Quality of Life の向上に貢献し、治療を受けた方が、自信を取り戻し笑顔で再び社会生活に復帰するお手伝いをするのが、形成外科医のやりがいです。



形成外科の治療内容

▶▶▶外傷、熱傷

当科では体表面のすべての挫創や熱傷の治療と、顔面の骨折の整復術、切断された手指の接合手術を行っております。特に熱傷に関しては、熱傷センターに勤務していた経験を生かし、皮膚再生を促進する外用薬を併用し、植皮術を含めた総合的な治療を行っております。



▶▶▶皮膚、皮下腫瘍、血管腫

皮膚、皮下腫瘍の治療は一般的に切除縫縮が行われますが、専門的な工夫（皮弁形成、植皮等）が必要となることがあります。



▶▶▶肥厚性瘢痕、ケロイド、瘢痕拘縮

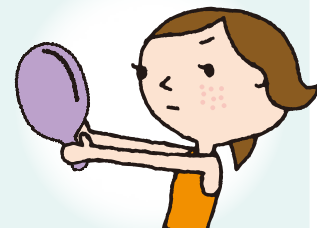
肥厚性瘢痕とケロイドは創傷治癒過程での繊維増生、組織修復の過剰反応の結果です。ミミズ腫れのように赤く盛り上がる傷跡には、ケロイド、肥厚性瘢痕、成熟瘢痕、瘢痕拘縮といったものがあり、それぞれ治療法が異なります。当院では種々の手術において、術後ケロイド、肥厚性瘢痕を防止するために、皮膚切開の部位、方向に配慮し、必要な対策をしています。

▶▶▶美容外科



しみ（脂漏性角化症、老人性色素斑）あざ（太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性刺青）に対し、Qスイッチルビーレーザーによる治療を行っております。太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性刺青に関しては、回数制限がありますが、健康保険にて治療できます。

腋臭症、眼瞼下垂、ほくろ、でべそ（臍ヘルニア）に関しても健康保険にて治療しております。



▶▶▶爪に関する治療について

陥入爪、彎曲爪、外傷による爪脱臼、爪下部膿瘍、爪下部血腫、グロームス腫瘍について治療が可能です。



治療実績

2014年における入院手術は、62件、外来手術は、770件であり、手術は事前に予約して行っております。

★ 2014年手術内訳



	件数		件数
顔面骨々折	12	レーザー治療	31
植皮術	12	陥入爪手術	32
瘢痕拘縮形成術	5	良性腫瘍及び それに関連する再建	549
悪性腫瘍及び それに関連する再建	11	外傷	147
眼瞼下垂	15	その他	18
		合計	832

スタッフ紹介



岩崎 秀樹

医学博士、日本形成外科学会専門医、
皮膚腫瘍外科指導専門医、臨床研修指導医

浦和高校卒、昭和60年、昭和大学卒（大学院卒）後、昭和大学形成外科入局、整形外科、外科、麻酔科研修を経て昭和大学病院のほかに太田熱海病院、今給黎病院、熊本機能病院、清恵会病院、前橋赤十字病院、大田西ノ内病院、など数か所の研修病院出向後、2005年に当院勤務となる。

検査だより

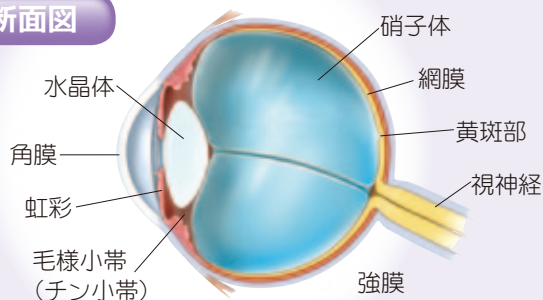
糖尿病網膜症 について

糖尿病網膜症とは糖尿病による高血糖が長い間続くことにより、網膜の血管が障害を受け、網膜や硝子体に様々な病変が起こることです。

糖尿病発症後5年をめぐりに網膜症が発症し、10～15年では50%以上となります。糖尿病網膜症は日本成人の中途失明原因の第2位となっています。視力が良くても糖尿病網膜症が進んでいる場合があり、急激に進んで両眼ともに失明することがあります。

糖尿病の眼合併症として、白内障、虹彩炎、調節障害や外眼筋麻痺などもあります。

目の断面図

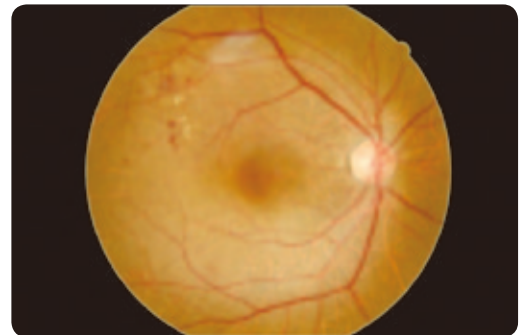


正常な眼底

★初期の網膜症 - 単純網膜症

最初は、網膜の中の毛細血管が硬くなり、こぶのように膨らんだり、傷つきます。そのため血液の流れが悪くなり、その結果、にじむように出血したり、血液の成分が漏れたりします。

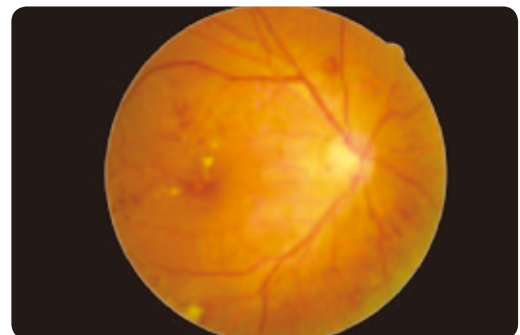
瞳孔を開く目薬を使った眼底検査を行うと、網膜に小さな点のような出血や血管のこぶのようなものがあるのがわかります。この状態では、自覚症状は全くありません。



★少し進んだ網膜症 - 前増殖網膜症

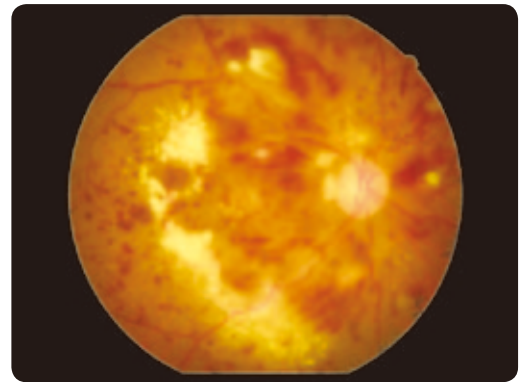
さらに病状が進むと、硬くなった血管がつまって、出血もより起こりやすくなってきます。

また、血管がつまって、網膜は白い斑点として見えます。網膜に水がたまり、むくみ（浮腫）を生じるようになります。網膜の中で、物を見るのに最も大事な黄斑部に浮腫が出てくると、視力が低下することがありますが、症状が目立たずに気付かれないことのほうが多いです。



★かなり進んだ網膜症 - 増殖網膜症

さらに病気が進むと、血管がつまった結果、血液を送るための別ルートをつくろうとして、本来見られない硝子体などに、新生血管をつくります。新生血管はもろく破れやすいので、すぐに出血を起こします。(硝子体出血) 破れた血管のあとからは、本来なかった新しい組織が増殖してきます。これが引きつれを起こしたように網膜を引っ張り、そのせいで網膜が眼球の壁から剥がれるようになります。(網膜剥離)



糖尿病網膜症の検査・治療

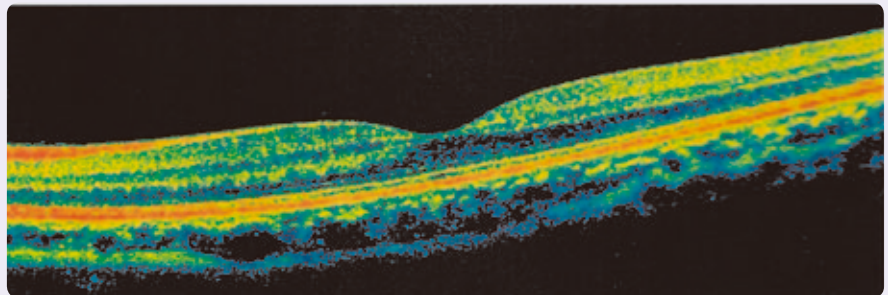
必要な検査

- 視力検査
- 眼圧検査
- 細隙灯顕微鏡検査
- 眼底検査

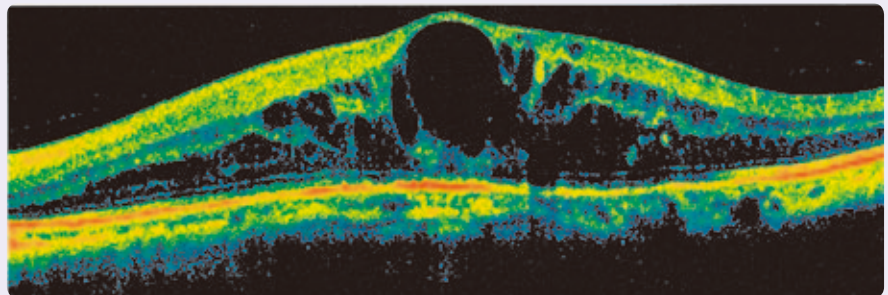
カラー眼底写真

眼底三次元画像解析

- OCT -



正常な網膜



浮腫を生じている網膜

進行してきた糖尿病網膜症の場合

- 蛍光眼底検査

眼底写真を撮るのは眼底検査と同じですが、眼底の血管をより鮮明に写すために、血管に造影剤を入れます。連続して10分ほど撮影を続けます。

治療

レーザー光凝固療法、糖尿病白内障の手術、ステロイド眼局所注射、硝子体手術、新生血管緑内障の治療などがあります。

失明を防ぐために



糖尿病であれば、目の症状がなくても必ず眼科を受診しましょう。糖尿病網膜症を早期の段階で発見し、眼科の治療の時期を逃さないことが必要です。内科医と相談しながら血糖をコントロールし、眼科も定期的に検査、診察を受けるようにしましょう。

そうすることによって、目の異常を発見できれば、眼科の治療により、多くの人は病気の進行をくい止めることが可能であり、失明も防ぐことができます。

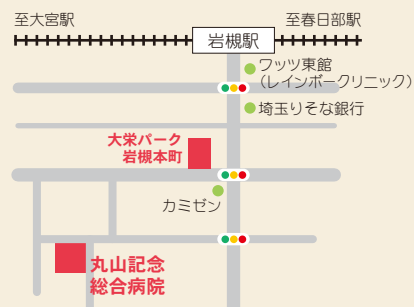
視能訓練士 川田 いず美



★外来へお車で越しの皆様へ

外来受診の患者様用に「大栄パーク岩槻本町」（当院契約駐車場）をご利用いただけます。当契約駐車場は無料で（最大3時間まで）ご利用できますので、駐車券と診察券を一緒に病院会計時にご提示ください。

※誠に申し訳ございませんが、お見舞いにお越しの方は、病院立体駐車場をご利用ください。なお、お見舞い時間は午後1時～午後8時となっております。



節電への取り組み

当院では、院内の照明を一部消灯するなど、節電に努めております。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。



丸山記念総合病院の理念・基本方針

理念

1. 安全な医療の提供
2. 誠意ある対応
3. 地域との関わり合い



基本方針

1. 接遇に心がけ、心の通う患者様本位の医療を進めます。
2. 院内のチーム連携により質の高い安全な医療を進めます。
3. 地域の救急医療の中心的役割を担います。
4. 地域との連携を積極的に進めます。
5. 患者様を尊重し情報の開示と十分な説明に努めます。
6. 地域に貢献できる医療人を目指します。
7. 医療の質を確保するため病院の経営健全化に努めます。

2015年(平成27年) 7月~12月 丸山記念総合病院 <<休診日カレンダー>>

- 休診日：毎週水曜日、毎月第一日曜日、祝日 ■ 赤字は休診日です。
- お盆の時期と年末につきましては、当カレンダーをご参照ください。
- 当院ホームページ <http://www.maruyama-hp.or.jp> も掲載しております。

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



『コラーゲン』って本当に効果があるの?

「肌によい」「関節痛に」とうたわれることがあるコラーゲン入りのドリンク、ゼリー、…これらは本当に美肌や関節痛に効果があるのでしょうか?



コラーゲンはたんぱく質の一種で、皮膚や骨の構成になくてはならないものです。しかしコラーゲンを含む種々のたんぱく質は食べたあと体の中で分解されるため、現時点の科学的知見では、コラーゲンを食べても美肌や関節痛に効果があるかどうかは不明です。

これらの効果を期待してコラーゲンを摂ることも良いですが、さまざまな食品をバランスよく食べ『栄養・運動・休養（健康づくりの三要素）』を見直すことが美肌や関節痛予防の近道になるかもしれませんね。



管理栄養士 神田千緩

広報誌“お元気ですか”第19号 平成27年6月 丸山記念総合病院 広報委員会

◆さいたま市岩槻区本町2-10-5 ◆TEL048-757-3511 ◆FAX048-756-6061 ◆URL <http://www.maruyama-hp.or.jp/>

皆様の健康をお預かりする、地域に愛される丸山記念総合病院であるために職員一丸となって、努力いたします。この広報誌へのご意見、ご感想等をお待ちしております。 広報委員会

医療法人 慈正会

丸山記念総合病院

日本医療機能評価機構認定病院

